

3. 第3回部会における自然海浜ゾーン・漁港ゾーンの検討の検討内容

第3回部会における自然海浜ゾーン・漁港ゾーンの検討内容(管理運営については1ページを参照してください)

■お祭り広場について

- ・国の補助金の関係などもあり、当面は撤去が難しい。(事務局)
- ・将来的には、現在の舗装や護岸の撤去を考える必要がある。

○方向性：  
中長期的計画として最終報告事項としたい。

■自然海浜ゾーンの飛砂防止対策について

- ・砂草砂丘の周囲に待つがあると風が上に上がって、砂が北側に飛ぶ恐れがある。検証しながら考える必要がある。
- ・飛砂の影響を少なくするためにも、漁港西側の道路で砂をとめる必要がある。
- ・砂防ネットを使うと景観が悪くなる。
- ・砂丘に木の棒を垂直に立てて(砂の移動を抑えている)海岸はありました。

○方向性：  
砂草植栽や施設整備による飛砂対策は、整備と検証を繰り返して完成させる必要がある。

- ・いろいろと調査をした結果、砂草のあるないにより砂の移動量が違うことが分かりました。さらに検証を進めたいと思います。
- ・柵についても同様の効果について検証を進めたいと思います。
- ・砂草は砂の動きをある程度抑えることで、生長が促進されます。人工的に砂を動かすことも生長に寄与します。(中村アドバイザー)

○方向性：  
上記と同様の対応となる。  
砂草砂丘は砂の量や高さについて定期的メンテナンスによるコントロールが必要となる。

■自然海浜ゾーンの飛砂の撤去について

- ・20m/秒程度の風がふけば、ダンプ3~4台分の砂がたまる。砂がたまらないようにするのは難しいと思う。
- ・現在は道路にたまっている砂を、車が通れるように人間の力で撤去している。
- ・行政に頼んでもいろいろとあってすぐには動いてもらえない。

○方向性：  
飛砂は完全にはなくなる。(除雪と同じ考え方をする必要がある。)  
迅速で地元負担の少ない除砂方法を考える必要がある。(機械の導入など)

■自然海浜ゾーンの園路について

- ・ボードウォークはいらないと思う。

○方向性：  
砂丘内に園路の整備は行わない。

■漁港ゾーン(北側サイクリングコースに沿って)の園路について

- ・ボードウォークは腐ってしまうのでなんとかして欲しいと思う。
- ・木製でもよいが、メンテナンスできるものがよい。
- ・漁港があるので、環境は緩和されると思いますがクロマツの生長は保障できません。(中村アドバイザー)

○方向性：  
園路舗装の  
素材検討を行う。  
(次回)



■漁港ゾーンの多目的広場と駐車場について

- ・舗装はしなくてよい。
- ・砂と砂利と土で(固めることが)必要だと思います。

○方向性：  
駐車場舗装の  
素材検討を行う。  
(次回)



- ・駐車場の中の松はいらない。砂溜まりの抛り所になってしまうので。
- ・周囲の石垣もいらない。砂溜まりの抛り所になってしまうので。
- ・砂を透過するフェンスの方がよい。(例えば、自然海浜ゾーンの北側にある擬木柵のようなもの)

○方向性：  
素材検討を行う。(次回)

■漁港ゾーンの動線について

- ・サイクリング道路(の表記になっている)漁港東側の通路は危ないのでやめたい。
- ・東側防波堤に車が入れるように、多目的広場を車が通過できるようにしたい。

○方向性：  
動線計画の見直し。(次ページ参照)

■県営西浜駐車場について

- ・南側の砂防林を駐車場内の北側にもって行って、北側住宅と駐車場の緩衝緑地にとよい。
- ・24時間営業も考えられると思う

○方向性：  
関係者ヒアリングを考えたい。その上で、中期的計画として最終報告事項としたい。